

英語プレゼンテーション向上セミナー 実施報告書

【講師】 斎藤 裕紀恵氏（株式会社 Y&S Visionary 代表取締役）

【日時】 平成 29 年 2 月 8 日（水） 13:00 ~ 17:00

【場所】 岐阜薬科大学本部 大学院講義室

【受講者数】 42 名（うち女性研究者 13 名）



講師に、英語教育教授の経験が豊富な斎藤裕紀恵氏（株式会社 Y&S Visionary 代表取締役）を迎え、英語で効果的にプレゼンテーションを行うための知識や方法を学び、より論理的かつ説得力のあるプレゼンテーションができるようになることを目指して、セミナーを開催した。

受講者は、女性 23 名、男性 19 名、うち教員（研究者）19 名、学生 23 名であった。

4~5 人ずつ 10 グループに分けて、グループワークを中心にいった。

講師の自己紹介、セミナーのアウトラインの説明のあと、講義と実践練習に入った。

< 第 1 部 >

- ・ Introduction の 10 のポイント
- ・ ボディランゲージと発声のポイント

< 第 2 部 >

- ・ プレゼンテーションの構成
(Introduction, Body, Conclusion)
- ・ Body, Conclusion で使える定型表現

< 第 3 部 >

- ・ ビジュアルスライドの作成法
- ・ ビジュアルスライドの説明法

< 第 4 部 >

- ・ 質問の受け答えに役立つ 7 つのコツ
- ・ 説得力を高める英語表現

< 模擬プレゼン >

発表 8 分、質疑応答 2 分、一人 10 分の持ち時間でプレゼンを行う。

1. outline の用紙を使いながら
2. method の用紙を使いながら
3. 図表を使って



4. Conclusion

5. Q & A (必須)



1部と2部の間に一度席替えがあった。それぞれの部で、ポイントとして定型文があげられ、講師に続いて復唱した後、グループ内で実践練習の時間がとられた。自己紹介以外は立って声を出す方式であった。

受講者が非常に熱心であったためと講師は言われたが、時間に余裕ができたため、予定外ではあったが、模擬プレゼンテーションを行う時間がとられた。質疑応答の時間もあり、受講者全員が実際に研究発表をする機会が与えられたことになった。

受講者に事前アンケートの提出を求めており、そこで出された質問や、その場の質問にも答えていただけた。

締め切り後に問い合わせもあり、興味や意欲のある研究者や、将来の研究者となる学生が多く集まったと思われる。

4時間という長時間にも関わらず、最後まで受講者全員が非常に積極的に演習課題に取り組み、大変活気のあるセミナーであった。

< 事後アンケートの集計結果より >

良かった点として、「プレゼンの定型文、ポイント、頻出する単語など学ぶことができたためになった」、「実用的な表現方法を学ぶことができた」、「実践形式で練習できたのがよかった」という意見が多くみられた。

良くなかった点として、「レベルが高かった」、「発表練習のために自分の研究内容をまとめて準備しておけばよかった」という意見があった。

4時間という長時間であったが、途中休憩は2回あり、長いと感じた人よりちょうどよいと感じた人の方が多かった。

レベルも自身にとってちょうどよいと感じた人の方が多かった。

また、アンケート回答者の100%がセミナーが役に立ったと回答し、約95%がまた参加してみたいと回答している。

実用的な表現法を多く学ぶことができ、その場で自分の発表の練習ができたことがいちばんよかったのではないと思われる。また、今後の英語学習への意欲が高まったという意見も見られ、研究者育成支援の一環として非常に有益であったと思われる。